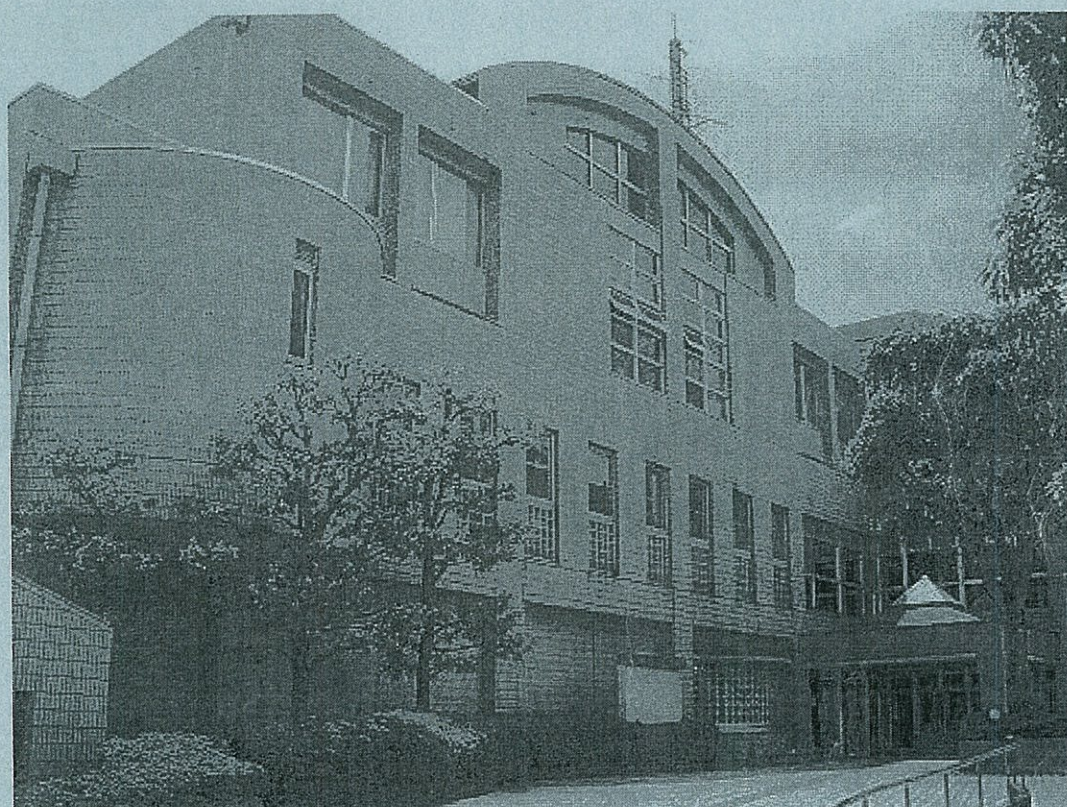


静岡市の図書館

平成25年度



静岡市立薬科図書館

静岡市立中央図書館

図書館の自由に関する宣言(抄)

[日本図書館協会 1954 年採択 1979 年改訂]

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由を持つ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第 1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第 2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第 3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第 4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、我々は団結して、あくまで自由を守る。

目次

1	市勢	1
2	図書館行政のあらまし	2
	(1)図書館の使命、目的とサービス方針	2
	(2)沿革	3
	(3)組織	7
	(4)図書館協議会	8
	(5)統計	9
3	運営	10
4	図書館サービス網	12
5	施設概要	13
	(1)中央図書館	13
	(2)中央図書館麻機分館	15
	(3)中央図書館美和分館	16
	(4)御幸町図書館	17
	(5)藁科図書館	19
	(6)南部図書館	20
	(7)西奈図書館	22
	(8)長田図書館	23
	(9)北部図書館	24
	(10)清水中央図書館	25
	(11)清水興津図書館	28
	(12)蒲原図書館	29
6	各図書館への交通手段	30
7	予算	32
8	事業	33
	(1)平成24年度事業報告	33
	(2)平成25年度事業計画	40
9	その他のサービス	46
	(1)団体貸出サービス	46
	(2)福祉サービス	48
	(3)学校協力貸出サービス	50
	(4)静岡市立図書館 関連ボランティア一覧	51
	(5)静岡競輪場ライブラリー	52
10	統計	53
	(1)図書館サービス指標	53
	(2)資料整備状況	54
	(3)資料利用状況等	69
11	静岡市図書館条例	75
12	静岡市図書館条例施行規則	80
13	静岡市立図書館資料収集方針	84
14	静岡市立図書館資料除籍基準	89

1 静岡市の市勢

■人口	719,188 人	(平成 25 年 3 月 31 日現在)
■世帯数	302,080 世帯	(平成 25 年 3 月 31 日現在)
■面積	1,411.93km ²	
■距離	東西 50.62km	
	南北 83.10km	

本市は、全国第6位の面積を持つ広域行政都市です。(平成 24 年版全国市町村要覧 第一法規発行より)北は3,000メートル級の山々が13座連なる南アルプスを抱き、南は太平洋に続く駿河湾沿岸部まで豊かな自然環境を有しています。市域の約 76%を山林が占めるのも特徴のひとつです。

東名高速道路、国道一号、東海道新幹線、東海道本線が市域を東西に横断し、また、海の玄関 清水港は国際貿易港となっています。

このような特徴を持つ本市は「すべての地域の・すべての住民に」充分な図書館サービスが行き届くシステムづくりを目指しており、12館(中央、御幸町、藁科、南部、西奈、長田、北部、清水中央、清水興津、蒲原、麻機分館、美和分館の各図書館)と移動図書館車 1 台(市内 18 ステーションを巡回)で図書館サービスを行っています。

2 図書館行政のあらまし

(1) 静岡市立図書館の使命、目的とサービス方針

図書館は、情報の海にこぎ出す市民ひとりひとりの水先案内をつとめます。いろいろな情報をのせた資料を集め、提供することで、

- 1 「図書館の自由に関する宣言」にもとづき、知る自由を守ります。
- 2 市民のくらしや仕事やまちづくりに役立ちます。
- 3 学びを通してさまざまな個性が育つことを助けます。

これらを実現するために、職員の専門的能力を高め、市民本位のサービスを追究します。また、運営についての情報も積極的に公開し、市民と行政が協力し合うことで成長する、開かれた図書館をめざします。

平成 16 年 10 月 22 日

静岡市立中央図書館

一次目的	二次目的	サービス方針
①知る自由を守ります。	①「知りたい」という望みにすばやく確実に応えます。	①本をはじめ、さまざまなメディアや他の図書館とのネットワークを活用して、望んでいるのに提供できない資料、知りたいのに回答できない相談を減らすことに努めます。 ②資料の検索や提供が、より早く確実にできるサービスをめざします。
	②「図書館の自由に関する宣言」の実現に努めます。	③知る自由を保障すべき図書館の責任を説いた「図書館の自由に関する宣言」を守り、その趣旨を広めることに努めます。
②市民のくらしや仕事やまちづくりに役立ちます。	③誰もが情報を自分で使いこなせるよう援助します。	④図書館に來たり利用することが難しい市民にも、望みの資料や情報を提供することに努めます。
		⑤子ども・若者(ヤングアダルト)・高齢者・障害者・外国人など、それぞれの求めや特色に応じたサービスとPRを工夫します。
		⑥図書館サービスを利用できない地域や時間帯を減らすことに努めます。
	④市民のくらしや仕事やまちづくりに役立つ資料を集め、提供します。	⑦本からコンピュータまで上手に情報を使いこなす方法を学ぶ機会を提供します。
③学びを通してさまざまな個性が育つことを助けます。	⑤知性と感性を刺激します。	⑧会社・自営業者・市民団体・役所などの活動に役立つ資料を集め、提供します。
		⑨市民のくらしや仕事に役立ち、時事問題への関心に応える資料を集め、提供します。
	⑥心の安らぐ機会と場を提供します	⑩静岡についての記録をはじめ、過去を伝える貴重な資料を、次の世代の利用を視野に入れながら、集め、保存し、提供します。
		⑪さまざまな意見や文化や価値観について知ることでできる資料を集め、提供します。
		⑫子どものときから本の魅力を知り、生涯にわたり読書を楽しむ機会を提供します。
		⑬学校図書館の充実のために、その活動を支援します。
		⑭くりかえし来館したくなる、気持ちのよいサービスや対応や場所を提供します。

※「サービス方針」はその左欄の「二次目的」を実現するための手段、「二次目的」はその左欄の「一次目的」を実現するための手段です。「一次目的」は、「使命」に掲げた三つの項目に一致します。

(2) 沿革

昭和		静岡地区の主要事業	清水地区の主要事業
6	9		清水本町の都市計画事務所跡を、清水市立図書館として開館
20	7		戦災により、全館、全蔵書焼失
22			同所に仮館舎建設開館
27	3		清水温譲報徳社より土地 2,076㎡を、また鈴木与平氏より会社創立150年を記念して、150万円の寄附を受け、これをもとに新図書館を入江浜田に建設、3月23日開館。この折、報徳社より二宮尊徳関係図書が、また馬場家より日蓮関係図書寄贈
31			鈴木与平氏、6,646冊の明治維新関係図書寄贈
32			鉄筋2階建ての書庫完成
42	7		新築移転準備のため休館
	9		桜が丘町文化センター内に併設(床面積 927.72㎡)
	10		新館において業務開始
44	3		清水市文化センター条例制定
	5	図書館開設準備のため、職員2名採用(社会教育課付)	
	9	静岡県から買収した旧葵文庫の建物の改修作業に着手	
	10	市議会にて「静岡市立図書館条例」議決	
	12 1	静岡市立図書館開館式挙行	
	12 2	一般開館始まる(貸出方式:ブラウン方式の変形)	
45	4		貸出文庫の業務開始
46	3	「駿河古文書会」が結成される。	
	4	児童室を設置	
	11	旧安倍郡6か村の支所、連絡所、小学校に団体貸出を開始 瀬名東部団地に出張貸出(個人)を開始	
47	2	家庭文庫の連絡組織「静岡子どもの本を読む会」が結成される	
48	4	蔵書点検用として、ブックカード2枚の作成を開始	
49		書庫3階の改修工事を実施	
50	4		清水市立図書館協議会発足
52	10	児童文学の分類切り替えを実施	
53	8~10	NDC8版への蔵書の分類切り替えを実施	
54		「静岡おはなしの会」が結成される。	
	9	移動図書館車「たちあおい」運行開始(ステーション6か所)	
55	7	こかげ文庫開始	
56	3	図書館建設調査費予算決議	
	6 1	身体の不自由な方のため図書の郵送貸出を開始	
	7	図書館建設についてアンケート実施	
	11	静岡市立図書館協議会、仮称静岡市立中央図書館基本構想について答申し、教育委員会にて承認される	
57	3	仮称静岡市立中央図書館建設費(57,58継続費)議決	
	12 20	仮称静岡市立中央図書館建設主体工事着手	
	12	教育委員会業者選定委員会にて電算導入のための選定作業開始	
58	7	電算機導入機種内定(富士通FACOM V-850R)	
59	2	仮称静岡市立中央図書館建設主体工事竣工	
	4 15	静岡市立中央図書館開館準備のため閉館	
	7 18	静岡市立中央図書館開館式挙行、開館	
	7	目の不自由な方に対する郵送貸出開始	
	8	移動図書館ステーション、市南部を主に5か所増設、計11か所	
	11 15	静岡市立中央図書館駿府町ステーション開設	
	12	静岡市立中央図書館建物中部建築賞(入賞)受賞	

昭 和	静岡地区の主要事業		清水地区の主要事業
60	1 3 6	図書館利用者用駐車場設置(大岩交番前) 福祉ボランティアグループ「ひびきの会」と命名	清水市立図書館協議会が「清水市図書館についての提言」を教育委員会に提出
61	3 8 14 8 31	身体、目の不自由な方への図書、テープの宅配開始 静岡市立追手町図書館開館式挙行、開館 静岡市立中央図書館駿府町ステーション廃止	
62	4 6 11	移動図書館、足久保地区巡回開始 清水市との間に個人図書館相互利用制度開始	CDの貸出開始
63	3 7 8	仮称西北部複合施設(図書館含む)建設費議決 競輪場ライブラリーへの団体貸出を開始したため、移動図書館ステーションを小鹿から池田に変更	清水市立新図書館建設検討委員会発足 「清水市立新図書館建設について」諮問
元	3 10 4 7 1 8	レベルアップした電算システムにて図書館業務開始 更新した新移動図書館車で巡回を開始 薬科図書館開館式挙行、開館	上記諮問に対し、「清水市立新図書館建設基本構想」「清水市立新図書館建設基本計画」答申 新図書館建設室設置
2	3 4	仮称南部図書館・視聴覚センター建設費(2～3年度継続事業)議決 中央図書館利用者用駐車場増設される(図書館前)	
3	3 6		新図書館建設工事に着手
4	3 7 7 20 7 21 9 10 20 11 30 12 1	南部図書館・視聴覚センター建物竣工 電算システムを富士通FACOM K-670/40にバージョンアップ(アプリケーションにILIS/X-30を導入) 南部図書館・静岡市視聴覚センター開館式挙行 南部図書館開館 南部図書館移動図書館車愛称「はまかぜ」に決定	清水市立中央図書館竣工 清水市立中央図書館開館式典 清水市立中央図書館開館 視聴覚ライブラリーを中央公民館から清水市立中央図書館へ移管
5	1 3 4	南部図書館移動図書館車巡回開始(原則として東海道線以南9か所) 仮称東部図書館設計委託議決 中央図書館移動図書館薬科地域の新聞ステーションを廃止し大原・富沢地区を増設(原則として東海道線以北11か所を巡回)	
6	3 4	仮称西奈地区複合施設(西奈図書館、公民館)建設費(6～7年度継続事業)議決 仮称長田地区複合施設(長田図書館、児童館)地質調査、設計委託議決 南部図書館移動図書館ステーションを3か所増設(下島団地中央広場、古庄公民館、軍神社) 中央図書館移動図書館薬科地区のステーションのうち、富沢公会堂を水見色小学校に、大原地区の場所を中薬科小学校に変更	
7	3	仮称長田地区複合施設(長田図書館、児童館)建設費(7～8年度継続事業)議決	
8	1 19	西奈地区複合施設建物引渡	

平成		静岡地区の主要事業	清水地区の主要事業
8	4	例年の図書館資料点検休館を4月に変更し、点検作業と平行して電算システム富士通FACOM K-6900αシリーズの機種変更作業を実施	
	4 22	西奈地区複合施設「愛称リンク西奈」開館式挙行	
	4 23	西奈図書館開館	
9	1 13	長田地区複合施設建物引渡	
	3		徳川文庫目録の作成
	4 1	南部図書館移動図書館を中央図書館移動図書館に統合(長田図書館開館のため)	
	4 21	長田地区複合施設「愛称オーク長田」開館式挙行	
	4 22	長田図書館開館	
	12		新館開館5周年記念事業 新館開館5周年記念誌「私の思い出の一冊」発刊
10	3	図書館蔵書CD-ROMの作製、販売開始	
	12	リサイクル市を開催	
11	1	協力貸出の試行開始	
	4	協力貸出の本格実施開始	
	11	本のリサイクル市を開催	
	12 4	静岡市立図書館開館30周年記念講演会を開催	
	12	静岡市立図書館開館30周年記念行事、木村文庫(十返舎一九)展示会を開催	
12	5 9	中央図書館において、火曜～金曜の18時から20時まで、開館時間延長の試行を実施。(～6.9)	
	8	事務機械化推進部会にて電算更新事業承認	
	11	本のリサイクル市を開催	
	11 3	文化の日記念ライブラリーコンサートを開催	
13	4	移動図書館ステーション、西部公民館から田町小学校へ変更	
	4 1	仮称静岡市立新迫手町図書館基本構想等策定委員会を設置(委員委嘱は6月1日)	
	4 30	「静岡市立図書館の使命、目的とサービス方針」を制定	
	5	中央、追手町、南部図書館において、月曜・祝日開館、時間延長の試行開始(～3.31)	
	8 4	「市民と図書館職員のつどい」を中央図書館において開催	
	10 25	(仮称)北部複合施設安全祈願祭・起工式	
	10 27	「第1回YAコーナー利用者と図書館職員の交流会」を中央図書館において開催	
14	4 1	月曜・祝日開館(一部)、時間延長(全部)の試行開始(～H15.3.31)	
	5 10	「仮称静岡市立御幸町伝馬町地区図書館基本構想」策定	
	8		インターネットによる蔵書検索の開始
	9 6		ブックスタート事業開始
15	1 1	電算システムを更新。インターネットによる蔵書検索・予約(サービス開始は平成15年度)、利用者開放端末による予約、各種レント印刷等が可能になる	
	2		清水市制79年メモリアル事業 「金泥書によみがえる 奈良・平安の文化展」開催
	2 7	中央図書館個人ボランティア募集開始	
	3		インターネットによる予約の開始
	4 1	清水市と合併し、静岡中央図書館となる	静岡市と合併し、清水中央図書館となる
15	4 1	月曜・祝日開館(一部)、時間延長(全部)の本格実施	
	4 15	中央図書館個人ボランティア活動開始	
	4 30	北部図書館一般開館開始	
	5 8	インターネットによる蔵書検索の開始	
	7 1	インターネットによる予約の開始	
	10	ハロー！ベビー 赤ちゃんのための読み聞かせ講座の試行開始	
	11		学校協力貸出試行(～3.31)
16	4 1		学校協力貸出本格実施

平成		主要事業
16	4 1	静岡中央図書館と清水中央図書館が統合し、静岡中央図書館が中央図書館となる
	6 13	清水興津図書館開館
	9 17	御幸町図書館開館(追手町図書館が移転)
17	5 1	休館日及び開館時間変更(一部)の試行開始
	10	葵区・駿河区でブックスタート事業開始
18	3 31	静岡市と蒲原町の合併により、蒲原図書館となる
18	4 1	休館日変更及び開館時間変更(一部)の本格実施
	4 5	御幸町図書館が文部科学省発表の「これからの図書館像」の9つの先進事例の一つとして紹介される
	12 20	移動図書館車を更新し、公募により愛称を「ぶっくる」とする
19	2	「静岡市子ども読書活動推進計画」策定
19	11 9	御幸町図書館が「Library of the year 2007 優秀賞・会場賞」を受賞する
20	3	「静岡市立図書館の組織運営改革プラン」を策定する
20	6 3	電算システムを更新。3システムを統合し、市内の全資料が1システムで利用可能となる。同時にホームページも更新。携帯サイトからの資料検索、予約が可能となる
	6 13	中央図書館麻機分館が開館
21	4 23	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として中央図書館が文部科学大臣表彰
	9 5	中央図書館美和分館開館
22	3	図書館海援隊プロジェクトへ参加
24	3	富士市との相互利用協定(試行)締結
24	8 1	清水中央図書館駐車場を専用可(40分無料)
	11	「第2次静岡市子ども読書活動推進計画」策定
25	3 4	電算システムを更新
	3 4	中央図書館第二駐車場を拡張(23台から31台)
	3	富士市との相互利用協定本格実施

(3) 組織 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

館別職員数

	中央	麻機分館	美和分館	御幸町	藁科	南部	西奈	長田	北部	清水中央	清水興津	蒲原	合計
参与兼館長	1												1
	0												0
参事兼副館長 兼統括主幹	1												1
	0												0
参事(館長 事務取扱)				1									1
				1									1
参事兼 館長										1			1
										0			0
副参事兼 館長												1	1
												0	0
主幹兼 館長					1	1	1	1	1		1		6
					1	0	1	0	1		0		3
統括主幹	1												1
	0												0
副主幹	4	1	1										6
	1	0	1										2
主査	4		1	1	1	1				3	1	1	13
	1		1	1	1	1				2	1	1	9
主任主事	4			1		2	1	1		2			11
	1			1		1	1	0		0			4
主事	1	1		1					1	1			5
	0	0		0					0	1			1
小計	16	2	2	4	2	4	2	2	2	7	2	2	47
	3	0	2	3	2	2	2	0	1	3	1	1	20
非常勤嘱 託(給与)	2												2
	0												0
非常勤嘱 託(報酬)	23	3	3	21	5	15	7	7	6	20	6	6	122
	18	3	3	21	5	15	7	7	6	20	6	6	117
合計	41	5	5	25	7	19	9	9	8	27	8	8	171
	21	3	5	24	7	17	9	7	7	23	7	7	137

同枠下段はうち司書・司書補資格保有数

男性 35 人
女性 136 人

(4) 図書館協議会（平成 25 年 4 月 1 日現在）

図書館法第 14 条第 1 項及び静岡市図書館条例第 12 条に基づき、図書館協議会を設置しています。
定例会は年 4 回程度開催され、図書館の運営に関しての有用な意見や、館長の諮問事項に関しての各種答申などを通じて、図書館サービス運営の拡充・発展に寄与しています。
その他、年 1 回他都市の図書館への視察を行っています。

氏 名	備 考
あさい てつお 浅井 哲朗	家庭教育関係者
いながき ようこ 稲垣 洋子	社会教育関係者
おかだ かつひこ 岡田 克彦	学校教育関係者
かとう みちこ 加藤 道子	社会教育関係者
くわはら くみこ 桑原 公美子	学識経験者
こにし ひろみ 小西 弘美	社会教育関係者
さくらい まさお 櫻井 正雄	社会教育関係者
すぎやま みつる 杉山 満	社会教育関係者
ながくら 永倉 みゆき	学識経験者
はが みえ 芳賀 美江	社会教育関係者

(5) 統計 (平成 24 年度実績)

内訳	館名							
	中央	移動図書館	麻機分館	美和分館	御幸町	蘆科	南部	西奈
蔵書冊数(冊)	435,635	18,850	58,334	42,310	142,332	103,727	290,425	183,907
登録者数(人)	29,380	928	2,261	1,251	26,741	6,778	35,275	13,945
開館日数(日)	300	151	268	268	303	267	303	268
入館者数(人)	321,735	-	55,261	55,604	603,705	82,852	409,828	193,557
貸出者数(人)	190,636	5,996	23,157	20,945	174,102	37,854	231,192	103,467
個人貸出点数(点)	718,373	28,394	97,034	72,535	447,619	146,876	916,801	414,133
団体貸出冊数(冊)	2,738	-	39	91	-	1,204	3,248	96
AVコーナー(人)	1,367	-	-	-	-	-	3,279	-
お話コーナー(人)	2,336	-	131	129	779	322	2,558	976
予約件数(件)	72,498	2,852	7,001	9,762	96,221	13,954	108,735	41,402
レファレンス(件)	1,906	-	1,557	3,122	7,743	1,955	3,116	2,162
コピー枚数(枚)	16,653	-	583	615	20,234	1,786	11,313	2,347

内訳	館名					合計
	長田	北部	清水中央	清水興津	蒲原	
蔵書冊数(冊)	167,782	110,201	478,844	124,453	98,848	2,255,648
登録者数(人)	17,011	11,500	30,981	9,312	4,740	190,103
開館日数(日)	267	267	301	268	267	-
入館者数(人)	214,306	151,798	261,938	119,041	69,502	2,539,127
貸出者数(人)	114,989	69,707	159,473	56,057	26,335	1,213,910
個人貸出点数(点)	451,191	293,890	591,241	226,133	90,749	4,494,969
団体貸出冊数(冊)	83	3	303	7,690	348	15,843
AVコーナー(人)	-	-	-	-	199	4,845
お話コーナー(人)	897	1,523	1,981	1,113	540	13,285
予約件数(件)	47,016	20,926	74,530	24,284	9,598	528,779
レファレンス(件)	3,247	4,623	5,951	5,797	2,742	43,921
コピー枚数(枚)	3,014	1,498	8,020	1,353	858	68,274

注1) 移動図書館の開館日数は、巡回日数である。

注2) 南部図書館の蔵書冊数のうち、26,660冊は静岡競輪場ライブラリーに団体貸出している。

3 運営

(1) 開館時間及び休館日

図書館名	休館日	開館時間
中央図書館 御幸町図書館 南部図書館 清水中央図書館	◎国民の祝日の次の平日 ◎毎月第2月曜日 (国民の祝日に当たるときはその翌日) ◎毎月第4水曜日(") ◎資料点検期間中(6月中の10日間以内) ◎年末年始(12月28日～1月5日)	◎平日(月～金曜日) 9:30～19:00 (御幸町図書館は20:00まで) ◎土・日曜日、国民の祝日 9:30～17:00
藁科図書館 西奈図書館 長田図書館 北部図書館 清水興津図書館 蒲原図書館 中央図書館麻機分館 中央図書館美和分館	◎毎週月曜日 ◎国民の祝日 ◎毎月第4水曜日 (国民の祝日に当たるときはその翌日) 資料点検期間中(6月中の10日間以内) ◎年末年始(12月28日～1月5日)	◎平日(火～金曜日) 9:30～19:00 (麻機分館・美和分館は17:00まで) ◎土・日曜日、国民の祝日 9:30～17:00

(2) 利用について

<個人貸出>

静岡市または富士市に在住しているか、静岡市内に通勤通学をしている方を対象としています。

1人につき図書資料(図書、雑誌、紙芝居)8点まで、視聴覚資料(CD、カセットテープ等)2点までの計10点、貸出期間は2週間です。

静岡市立図書館内であればどこで借りても、どこの図書館へ返してもよいシステムをとっています。

<団体貸出>

市内の社会教育団体、事業所、家庭文庫、学校などを対象に団体貸出をしています。

(最大1回300冊、期限3か月)

<学校協力貸出>

小・中・高等学校を対象に、調べ学習用の図書を貸出しています。

(最大1回20冊×5分野で100冊、期間2週間)。

<障害者サービス>

目や肢体が不自由で、来館や読書が困難な方のため、図書・録音図書などの郵送貸出や、宅配を行っています。

<レファレンスサービス>

利用者の調査・研究のため、予想される質問や色々なテーマに対する参考ツールの作成、参考文献の整備充実などを通して、図書館資料利用に対する援助、各種情報の提供を行っています。